

津市立ハツ山小学校だより

この学校にわたしたち

2023. 1. 17 NO 51

“感謝”は人を豊かにする



3年程前のある朝、職員室のカギをあけた途端、「運動場のネットに子猫がひっかかっているのを助けてあげてほしい」と近所の方から電話があり、運動場の端っこのその場に行くと、暴れたのでしょうか、子猫の体にネットの網が体中に巻き付いていました。少し離れたところに母親らしき猫がこちらを見ているのが目に入りました。子猫は私を敵だと思い、ものすごい表情で威嚇してきました。私は子猫の爪にひっかかれながらもようやく絡まっていたネット

【画像はオフィシャル WEB サイトより】をすべて外してあげました。子猫は猛スピードで逃げていきました。次の朝、まだ誰もいない職員室で仕事をしていると「ニャーニャー」と猫のなき声があり、窓を開けてみると窓のすぐ近くで親猫と子猫がこちらを呼ぶようにしてしばらく立ち去っていきました。私は不思議な気持ちになりながらも「ひょっとしてお礼を言いに来てくれたのかな」と思いました。昨年末、演歌歌手の八代亜紀さんが亡くなったと報道されていました。代弁者として歌を歌い、表現者として絵を描くことを愛し続けた人生の中で八代さんが常に大切にしていた言葉は「ありがとう」だったそうです。「一人では何も出来ない、支えてくれる周りの皆様に感謝を」という父と母からの教を生涯貫いてこられたそうです。八代さんは初めて曲がヒットした際、「無名の自分だが聞いてくれる人がいたから…」と感謝と恩返し思いから刑務所や少年院などの慰問活動を開始し、これまでずっと活動を続けてこられたそうです。また、東日本大震災や熊本地震では多忙なスケジュールを縫うようにして、被災地を回り、一人一人を言葉でも、歌でも励まし、体育館で避難生活を送る人々のために畳を1000枚以上贈ったそうです。有名とか無名とか関係なく、“感謝”の気持ちから行動にうつしてこられた八代さんは人間として本当に素晴らしく、また尊い生き方をされてきたのだと感銘を受けました。不平・不満をいつい言ってしまう、その度、“だめだなあ”と反省することも多々あります。不平・不満はイライラするだけで何物なりません。“感謝”は人の心を豊かにしてくれます。子猫に教えられ、八代さんに学ばせていただいたことを少しでも生かしていけたら…と思いました。

大谷 翔平選手からのプレゼント

昨年末にアメリカメジャーリーグの大谷 翔平選手が全国の小学校に野球のグローブ（右利き用2 左利き用1）を贈ったと報道がされました。ハツ山小学校では児童会の役員の子とともに「みんなでどのように使うか」「この気持ちをどのように伝えるか」について話し合ってきました。1月19日に届き、22日の朝会でお披露目する予定です。

